

# 多発性骨髄腫

## DBd療法(4~8コース目) 1コース 3週

薬剤・略号	商品名	投与量	投与日
ダラツムマブ	ダラザレックス	16 mg/kg	Day1
ボルテゾミブ	ベルケイド	1 mg/m <sup>2</sup>	Day1,4,8,11
デキサメタゾン	レナデックス	20 mg	Day2,4,5,8,9,11,12 ※1

※1 75歳以上またはBMI 18.5未満は省略

Day1	
(1)	生理食塩液 100ml / ルートキープ (外来のみ)
① (2)	デキサート注(6.6mg) 3V + ポラミン注(5mg) 1A + 生理食塩液 100ml / 入院:ダラザレックス投与2時間前から1hrでDiv / 外来:ダラザレックス投与1時間前から30minでDiv
② (3)	アセリオ注(1000mg) 1P / 入院:ダラザレックス投与1時間前から15minでDiv / 外来:ダラザレックス投与30min前から15minでDiv
③ (4)	ベルケイド ( )mg/body + 生理食塩液 / 静注・皮下注 ※2
④ (5)	生理食塩液 10ml / フラッシュ
Y ⑤ (6)	ダラザレックス ( )mg/body + <b>生理食塩液 500ml</b> / ※3 インラインフィルター付ルートを使用
Y ⑥	生理食塩液 50ml / 後押し(入院のみ) Y字から投与, バッグアダプタ使用

【↑ ○囲い数字は入院、( )付数字は外来】

day4,8,11	
	生理食塩液 100ml / ルートキープ (外来のみ)
	ベルケイド ( )mg/body + 生理食塩液 / 静注・皮下注 ※2
	生理食塩液 10ml / フラッシュ

※2 静注 :1バイアルを生理食塩液3mlで溶解し、必要量を採取する。

皮下注:1バイアルを生理食塩液1.2mlで溶解し、必要量を採取す

※3 生理食塩液で希釈して最終投与液を500mlとする。

### ダラザレックス投与速度

0~1時間	100ml/時
1~2時間	150ml/時
2時間以降	200ml/時

### infusion reaction 発現時

#### 1)Grada 1~3

ダラザレックスの投与を中断。回復した場合は、infusion reaction発現時の半分以下の投与速度で再開する。Infusion reactionの再発が無ければ、投与速度を増量可。Grade 3のinfusion reactionが3回発現したら投与中止。

#### 2)Grada 4

ダラザレックスの投与を中止。